



三島市指定研究発表会

富士山や星空が美しく見える季節になりました。11月8日(火)の「皆既月食・天王星食」は、御覧になったでしょうか?自然の崇高さにも目を向けられる心の余裕を大切にしたいと思います。

朝夕の寒さが厳しくなりました。また、一日の温度差が大きくなり、体調を崩しやすくなります。健康管理には、十分お気をつけください。気温が下がるとともに厚手の上着を着る子供が増え、ポケットに手を入れて登校する姿が散見されます。子供の安全を守る観点から学校で指導しますが、各御家庭におかれましても御指導いただくと大変有り難く思います。よろしくお願いします。

令和3・4年度に三島市の指定を受け、「1人1台端末で実現できる新しい学校を目指して」をテーマに研究を進めてきた成果を、11月2日(水)に開催された研究発表会で披露しました。そのときの、様子をお伝えします。

令和3年度は、1人1台端末をまずは「使ってみる」、令和4年度は「使いこなす」を合い言葉に取り組んできました。特に令和4年度は、授業の中でタブレット端末等を有効活用することにより、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを進めてきました。また、タブレット端末やネットワーク環境を有効活用した効率の良い学校運営を行い、子供と向き合う時間が増えるかを研究してきました。

発表会当日の公開授業では、算数の授業は、子供が何度もタブレット端末を操作して数え方を説明する場面、道徳の授業は、子供の考えをタブレット端末に表現し、グループごとに意見を交流する場面、体育では、自分たちグループが表現したダンスを、タブレット端末で何度も繰り返し録画した内容を見返しながら、自分たちの動きを振り返ることに活用し、深い学びにつなげていました。

研究の指導を仰いできた静岡大学教育学部准教授の塩田真吾先生からは、当日の授業だけではなく、2週間前には、全クラスの授業を見ていただきましたが、南小は、タブレット端末を「使う」から「使いこなす」段階に進んでいると評価していただきました。以下に、参加者からの感想を一部紹介します。

- ・ 先生の問いかけに目を輝かせながら反応する姿、タブレットの友達の考えに納得したり首を傾げたりする姿など子どもたちがいきいきと学ぶ姿が見られ大変勉強になりました。
- ・ 話し合いをするときに、タブレットを活用し自分の意見を図で表現すること、それを画面で共有することがとても効果的だと思いました。私は、子どもたちが話をしている人の方にしっかりと体を向けて聞いている姿がとても素敵だと思いました。ICTを使うときに、使い方によっては交流がタブレットの中で完結できてしまうので、画面と向き合って終わってしまうこともあると思います。でも、今日の授業のように、ツールはICTを使っても、意見の交流はみんなできっと目を合わせてできるといいなと思いました。使い分けがしっかりとできていて、とても勉強になりました。
- ・ 電子黒板、タブレット、ホワイトボードと、学習場面や目的に応じて手立てを工夫していて素晴らしいと思いました。ICTの効果的な活用という点だけでなく、授業のそのものがよく考えられており、今、求められている教育を具現化した授業でした。どの子も、楽しそうに自分なりの表現方法を考えていたのが印象的でした。
- ・ 参観させていただいたどの学級の子供も、端末を使用する時と使用しない時の学習規律がとてもきちんとして



いるなど感じました。このような子供たちですので、今後は端末の使用、しないについても学習者が適切に選択できるようになると、学習者自身が ICT 機器をより本質的に活用していくのではないかと感じました。それが深い学びにもつながっていくのではないかと感じました。

全体会では、塩田准教授から「これからの1人1台端末の活用について」御講演いただき、大変考えさせられる内容だったのでお伝えします。

「深い学び」につなげるための ICT 活用ー ICT を「使う」から「使いこなす」へ

- ・「ICT は便利!」を超えて、「ICT を使って、どんな力を育てるか」
 - ・「ICT を活用すること」が目的ではない。ICT は、試行錯誤したり、じっくり&たくさん見たりすることで、考えをたくさん出したり、思考を深めたり、表現したりするための道具
- タブレット端末の活用により、人々は考えなくなったのではないかと
- ・ **例**: 地図ソフトを活用することで、道を覚えなくなった。
 - ・ **例**: 食べログの点数を見て、行きたいお店を決める。等
- 「交流する」とはどういうことだろうか?
- 「交流する」にもレベル(段階)がある。
- ・ レベル1 自分の意見を言い合う。
 - ・ レベル2 自分の意見と友達の意見を比較することができる。
 - ・ レベル3 自分と友達で、さらに良い意見を作り出すことができる。
- 「情報活用能力」と「情報モラル」
- 「情報活用能力」は、「情報モラル」を含むことは、学習指導要領の総則編でも定められています。

どのような場面でどのように ICT を活用するのか。活動のレベルを考えるなど、意図をもって活用することで、深い学びにつながります。



「情報モラル」とは、「**情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度**」であり、具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など、自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなどである。

学校でも、「情報モラル」については指導していきますが、御家庭でも、学校のタブレット端末だけではなく、家庭でのスマートフォン、タブレット端末、ゲーム機器などの使用方法や、使用時間等の約束を決めて使うことは大切なことだと思います。御家庭でもぜひ、話し合ってみてください。

☆ 「おやじの会」等による体育館いすのカバー付け

10月28日(金)に6年生、10月30日(日)に「おやじの会」の方が、ホースを利活用して体育館のパイプ椅子の床接地面にカバーをつけてくれました。これで、体育館に床傷防止のシートを敷くことなく、パイプ椅子等を並べることができるようになりました。ありがとうございました。



☆ 12月の教育相談週間について

以下の日程で12月に希望制の教育相談を行います。お子様の「学習について」「学校生活について」「友人関係について」等、保護者の皆様と一緒にお子様の成長について考えていきたいと思ひます。

相談を希望される方は、以下の日程内で、連絡帳等で希望日時と相談内容を担任まで御連絡いただき、直接調整してください。なお4-7組児童は、別途、案内がありますので、そちらを御確認ください。

19日(月) 14:45 ~ 16:30 (1,2年生は 14:00~)

20日(火) 14:45 ~ 16:30

21日(水) 15:15 ~ 16:30 (1,2年生は 14:15~)

22日(木) 14:45 ~ 16:30

23日(金) 14:15 ~ 16:30 (1年生は 13:30~)

